



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年10月13日	
問い合わせ先	課名	スポーツ振興課
	電話	直通 803-1616 内線 4743
担当者	職名・氏名	課長補佐 後藤 藤 主査 森

広 報 連 絡

- 件名 「JOCオリンピック教室」を開催します
- 趣旨 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）がオリンピック・ムーブメントの普及、啓発活動の一環として実施している「JOCオリンピック教室」を本市にて開催します。

JOCオリンピック教室とは、オリンピック出場経験アスリート（オリンピック）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピック人だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習する授業です。

なお、本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施いたします。
- 主催 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）
- 期日 令和4年10月19日（水）
- 会場 岡山市立光南台中学校（南区飽浦）
- 教師役となるオリンピック
坪井 保菜美 氏（体操／新体操）
プロフィール、主な成績等は別紙参照
- 実施対象／方法
中学2年生（1クラス 計35名）
連続2コマ（運動50分＋座学50分）の授業

《裏面あり》

8 時間及び内容 3時限目 (10 : 55~11 : 45) 運動 (於 : 体育館)

4時限目 (11 : 55~12 : 45) 座学 (於 : 教室)

※運動の内容について・・・オリンピックの専門競技の技術指導 (スポーツ教室) ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫された運動プログラム

※座学の内容について・・・オリンピック個人の経験等を通して「オリンピックの価値」等を分かりやすく伝えると共に、運動の時間を通じて感じたことを考えるもの

9 取材について

- ・運動の時間は、授業に支障のない範囲であれば体育館壁際付近から自由に取材・撮影していただいて構いません。但しオリンピックと生徒の間を移動することはご遠慮ください。
- ・座学の時間は、生徒及びオリンピックが授業に集中できる環境を保つため、動画撮影場所は教室後方出入口付近とし、授業冒頭 (10分程度、その後、機材を廊下へ移動) のみとします。また、廊下や教室内を移動しての撮影はご遠慮ください。
- ・スタッフは指定の場所以外で撮影を行う場合がありますので、予めご了承ください。
- ・オリンピック及び生徒への取材は、4時限目 (11 : 55~12 : 45) の座学終了後のみとします。
- ・通常授業時と同様の環境を保つため、運動・座学共にフラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。
- ・取材を希望する場合は、10月17日 (月) までに取材時間等を担当者 (スポーツ振興課) までご連絡ください。
- ・なお、取材にあたっては取材申込みの際にお伝えする感染防止策にご協力いただきますようお願いいたします。

オリンピック先生



つ ぼ い ほ な み
坪井 保菜美 先生

【体操／新体操】

- 生年月日 1989年4月5日
- 出身地 岐阜県岐阜市
- 出身校 岐阜大学教育学部附属中学校－
千葉県立千葉大宮高等学校－
早稲田大学



プロフィール

5歳から新体操を始め、小学6年時の全日本チャイルド選手権大会3位入賞をきっかけに本格的に競技に取り組む。中学2年時にはジュニア日本代表としてオーストラリアン・ユース・オリンピックフェスティバル国別対抗で優勝。2006年日本代表選抜団体チームに選出され、2007年世界新体操選手権大会総合7位に入賞、2008年北京大会への出場を果たす。翌年新体操ワールドカップ種目別で優勝し、同年世界新体操選手権大会を最後に引退。現在は新体操教室を開催し、競技の普及や後進の育成に尽力すると共に、ヨガインストラクターの資格を活かし、講師としても活躍。また絵を描くアーティストやモデル、タレントとしても幅広く活躍している。

主な成績

<オリンピック競技大会>			
2008年	北京大会	団体	10位
<国際大会>			
2003年	オーストラリアン・ユース・ オリンピックフェスティバル	国別対抗	優勝
		個人総合	6位
2006年	バルナ新体操国際競技大会	団体総合	3位
2007年	世界新体操選手権大会	団体総合	7位
2009年	ポルチマン新体操国際競技会	団体総合	8位
		団体種目別 ロープ+リボン	優勝

体操／新体操

手具を使いながら音楽に合わせてリズムカルな演技を行い、芸術性を競う採点競技。演技は13メートル四方のフロアマットで行われ、個人競技と団体競技の大きく2つに分けられます。個人は「ロープ（個人はジュニアのみ）・フープ・ボール・クラブ・リボン」の5つのうち、オリンピックではロープ以外の4種目を1人の選手が行います。団体は、1チーム5人の選手によって2種目が行われます。



写真：JOC：アフロススポーツ；YUTAKA/アフロススポーツ